

平成 29 年度第 4 回理事会承認
平成 30 年度定時総会報告

平成 3 0 年度

事業計画書

平成 3 0 年 4 月 1 日から

平成 3 1 年 3 月 3 1 日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

基本方針

わが国では、少子高齢化が顕著となり、当協会においても若い人々の割合が減少する傾向にある。さらに、スマートフォンの普及やゲームに興じる時間が増えたことにより、一般市民の屋外での活動が少なくなる傾向にあり、スカイスポーツ振興を目的とする当協会を取り巻く状況は、厳しさを増している。

一方、観光面を見た場合、アジア圏からの観光客が大きく増加し、各自治体では、これらの客をターゲットとした対策を打ち出している。そのため、スカイスポーツ振興においても、訪日外国人を取り組む必要がある。

それらを考慮しつつ、健全な協会経営と次世代に対する啓発などの投資的事業を両立させ、公益法人としての使命を全うするとともに、国内のグライダー活動の先導的役割を果たすことでスカイスポーツの振興を図る。

事業活動

I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

初心者から指導者までの広範にわたる愛好者に対して、技量や要望に応じた各種の魅力あるメニューを実施して、飛行技術の伝承、整備技術の伝承・支援および指導者の養成を図る。

1. グライダースクールにおける操縦に関する指導

① グライダースクール

- ・サマートレーニングコース

7回実施する（各15名程度）

第1回：6月 4日～6月 8日

第5回： 9月10日～ 9月14日

第2回：6月18日～6月22日

第6回： 9月25日～ 9月28日

第3回：8月 6日～8月10日

第7回：10月 1日～10月 5日

第4回：8月27日～8月31日

- ・ウィークリーコース シーズン中の平日に随時実施する。
- ・ウィークエンドコース シーズン中の土日祝日に実施する。

② グライダーキャンプの受入

- ・大学生及び社会人の合宿誘致を図る。

他団体受入期間：7月30日（月）～8月 3日（金）

8月13日（月）～ 17日（金）

2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援

協会所有の整備施設を活用して、常駐または外来航空機の整備支援を行う。

3. 特定操縦技能審査

自家用操縦士（滑空機）に対する特定操縦技能審査を実施する。

4. 各種受験に関する指導

① 航空従事者技能証明等の試験に関する指導及び実地試験の受入

対象資格：自家用操縦士（滑）上級・動力、操縦教育証明（滑）

実地試験予定時期：10月

- ② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験の実施
実施時期：不定期

5. アシスタントインストラクター制度

操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、有資格者とのグライダー互乗などを通して、アシスタントインストラクターとして経験を積み重ねることで、操縦教員の養成を推進する。

6. 各種講習会の実施（講師派遣）

- ① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催
- ② スカイスportsを対象とした各種講習会への講師派遣

7. 国際交流事業の推進

① 操縦教員の派遣

冬季間、南半球を訪れる日本人に対し、ニーズに合致した教育支援を現地グライディングセンターと協同して実施するとともに、コーチング技術や競技会開催のノウハウを蓄積する。

期間：平成30年12月～平成31年2月、各3週間程度

派遣先：オーストラリア及びニュージーランド

派遣者：操縦教員2～3名

② 曳航パイロットの招聘

各種飛行事業を円滑に行うために、曳航パイロットを招聘する。

期間：5月下旬～10月中旬、のべ21週間

招聘先：オーストラリア

招聘者：2名

③ 世界のトップレベルのグライダーパイロットの招聘

北海道のグライダーにおけるクロスカントリー飛行の可能性をさらに広げ、多くの人々がクロスカントリー飛行を行うためのノウハウ蓄積のために、世界的に活躍するグライダーパイロットを招聘する。

期間：9月

招聘者：G. Dale氏（イギリス）

8. 国内滑空団体との連携

国内の滑空団体と連携を進め、人的交流や情報交換を促進し、滑空スポーツの活性化や安全対策の強化を図る。

II スカイスports啓発事業（公益目的事業2）

若年層へのスカイスportsの普及を図ると同時に、近隣小中学校などの教育機関との積極的な連携を図る。また、現在使用されているグライダーのみならず、ヴィンテージグライダーが一般市民の目に触れる機会を増やすことで、グライダーの知名度向上を図る。また、模型航空機などの団体と連携を取り、グライダー以外のスカイスportsの啓発に努める。

1. 児童・生徒を対象とした体験学習の受入

- ① 滝川市内全小学校および周辺市町小学校の4～6年を対象に、各校1～2学年

の児童のグライダーや軽飛行機による体験学習を行う。

時期：6月～7月及び10月

- ② 小中学校の児童・生徒の体験学習及び施設見学を受け入れる。

時期：随時

2. こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内の子供たちを対象に、軽飛行機、モーターグライダーやグライダーの体験搭乗及び紙飛行機教室を実施する。

開催日：5月5日（土）

対象：道内の小学生

予定人数：体験飛行55名（来場者500名）

3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

地域の小中高校生を対象に、空に接する機会をつくと同時に、グライダー操縦練習活動を充実させる。また、グライダー愛好者の底辺を広げるため、青少年会員の増を図る。

- ① ジュニアグライダークラブ会員：10～13歳

- ② 青少年会員：中学2年生以上高校3年生以下

4. ユース会員の支援

学生および大学を卒業した後も社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を支援する。

年齢：26歳以下

優遇措置：入会金免除、年会費・サマーレーニングコース参加費等の割引

5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

全国の古典機愛好者と連携して、航空文化財として歴史的価値の高いヴィンテージグライダー（古典機）の国内唯一の修理・展示・飛行を総合的に行える施設の整備を追及するとともに、世界の古典機クラブとの連携を模索する。

- ① ヴィンテージグライダー（シェンプ・ヒルト式Gö3ミニモア及びヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー）の耐空証明取得、デモフライトの実施

- ② イベントにおいて、飛行展示、地上展示を行い、ヴィンテージプロジェクトの広報の実施

- ③ 体験飛行会の実施

- ④ 「ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト」報告会の開催

- ⑤ VGC（世界のヴィンテージグライダー統括団体）との連携

- ⑥ 関連資料の分類・整理・公開

6. 航空祭支援

道内各地で行われる航空に係るイベントに積極的に参加し、グライダースポーツ及び「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図る。また、一般のイベントにも積極的に参加する機会を求め、広くグライダー活動の周知に尽力する。

- ① 2018北海道スカイスポーツフェア イン 滝川

開催日：7月29日（日）

場所：たきかわスカイパーク
主催：（公社）北海道スカイスports協会
支援内容：未定

② 札幌航空ページェント

開催日：8月12日（日）
場所：札幌飛行場 陸上自衛隊丘珠駐屯地（札幌市）
主催：北海道航空協会 （公社）北海道スカイスports協会
支援内容：未定

③ 千歳基地航空祭

開催日：未定
場所：航空自衛隊千歳基地
主催：航空自衛隊
支援内容：未定

7. 「2018電動模型航空機世界選手権」開催への協力

電動模型航空機の世界選手権が開催されるに当たって、受入れのための支援を行う。

開催日：7月19日(木)～27日(金)

場所：たきかわスカイパーク

主催：（一財）日本航空協会

支援内容：「2018電動模型航空機世界選手権地元受け入れ協議会」の構成スタッフとしての活動

8. スカイパーク施設の管理・運営

「たきかわスカイパーク」の指定管理者として、施設運営及び事業を展開する。

Ⅲ 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

滝川市及びたきかわ観光協会と連携して、「空」をテーマとした体験型観光事業を推進するとともに、地域振興に寄与する事業の展開を積極的に図る。

1. 観光客等の受入

フライトシーズン中、体験飛行を積極的に受け入れる。

- ① 地域の飲食店や宿泊施設と連携したプログラムを企画・実行し、情報発信力を高める。
- ② 滝川市、（一社）たきかわ観光協会の動きと連携し、アジア圏からの旅行者を誘引する観光プログラムを実施する。
- ③ 美唄市や富良野市など近隣エリアのスカイスports体験事業者と連携し、空の体験を希望する観光客への訴求力を高める。
- ④ インターネットによる予約システムの活用・充実に努める。

2. グライダー等による体験飛行会の実施

① 滝川市民対象

実施期間：10月18日（木）～10月21日（日）

予定人数：300名

② 一般市民対象

実施期間：4月下旬～11月上旬の間に随時

予定人数：1,000名

③ 滝川市ふるさと納税への協力

滝川市が実施しているふるさと納税の返礼品として、グライダー体験飛行券を提供する。

3. 「そらぷちキッズキャンプ」の支援

(公財) そらぷちキッズキャンプが実施する、難病とたたかう子どもたちを対象としたキャンプのスカイスポーツ体験プログラムやツアープログラムに協力する。

IV スカイスポーツに関する調査研究事業（公益目的事業4）

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

海外のグライダー界の状況や、国内の愛好者の動静に注意を払い、国内外を問わず、多くの機会・媒体を捉えて、積極的に情報の収集・発信を行う。

① ホームページを最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容にしていくとともに、フェイスブックや掲示板を活用した情報発信を行う。

② 国内外のグライダークラブとの連携

(公社) 日本滑空協会、北海道滑空協会を支援しつつ、グライダークラブミーティング等の情報交換の場に積極的に参画し、国内のグライダークラブとの情報交換を密に行う。また、海外のグライダークラブとの連携を図り、グライダー操縦技術・安全対策の向上のための情報収集を行う。

V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行う。

VI 利用者への施設提供事業（その他の事業1）

たきかわスカイパーク利用者の満足度を高めるため、各種の施設提供事業を行う。

- ・スカイスポーツ愛好者への宿泊施設の提供
- ・たきかわスカイパーク来場者への飲食物の提供
- ・スカイスポーツ関連の物品の販売

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を喚起して、危険に対しての的確な見積りと、基本的で確実な危険回避動作を実施し、航空無事故を目指す。

無事故目標： 1,401日

管理部門

1 会員

各種イベント等を通じ、個人会員の入会勧誘を積極的に進める。併せて、近隣市町

に所在する個人・法人に対する当協会への理解を深めていただくよう働きかけると同時に、正会員・賛助会員への入会を積極的に勧めていく。

2 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページを活用して、当協会の運営に関する情報公開を積極的に進める。

3 業務執行体制の整備と強化

地元企業との連携を深くし、互恵関係を強化していくと同時に、業務管理体制を充実させ、運航体制の強化を図る。また、ボランティアスタッフの協力を得ながら、各種事業の円滑な実施を目指す。

4 その他

航空機燃料、整備資材や各種保険料等の価格上昇にともなう収支の均衡を保つため、経費節減に努めると同時に、取捨選択による効率的な資源の活用を図る。